

まちにある色々なマーク

～ユニバーサルデザインの図や記号の意味を知ろう！～

たくさんの人が利用する建物や駅などでは、駐車場やトイレ、エレベーターなどを図や記号で案内してあるのを見かけます。だれもが使いやすいようにデザインされた場所、全ての人が安心して生活できるよう気をつけてください、とお願いをする意味を持つマークです。

ひとにやさしい駐車場



この駐車区画はひとにやさしい駐車場利用証をお持ちの方が利用できます。

(施設管理者名)

岩手県

障がい者のための国際シンボルマーク

障がい者が利用できる建築物、施設であることを明確に示す世界共通のシンボルマークです。



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマークです。また耳の不自由な方に必要な援助を行うという意味表示を示すのに使います。



オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を付けている人(オストメイト)のための設備があることを示します。



盲人のための国際シンボルマーク

視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物などにつけられている世界共通のシンボルマークです。



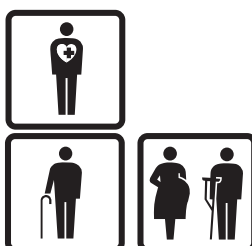
ヘルプマーク

義足や内部障がいのある方など、外見からはわからない人が、周りに配慮を必要としていることを知らせるマークです。



その他のマーク

交通機関の優先席表示で広く使われています。上が内部障がい者、左下が高齢者、右下が妊産婦、けが人を示します。



まちをやさしさに いっぱいになろう!

まな
学ぼう!

心のバリアフリーとまちのユニバーサルデザイン



このマークはほんの一例です。まちで見つけてみよう!

岩手県

まちをやさしさで いっぱいにしよう!

まな
学ぼう!

こころ
心のバリアフリーとまちのユニバーサルデザイン

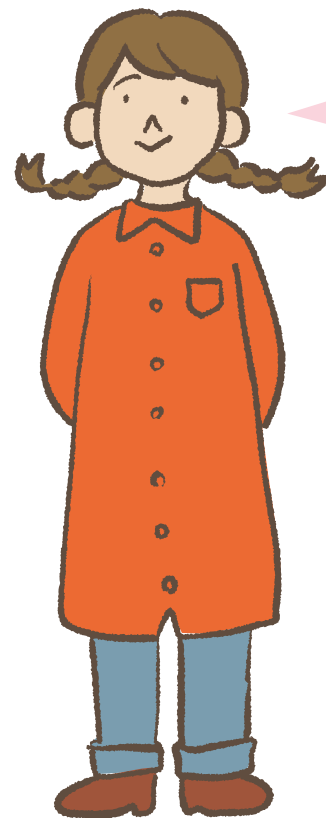
こころ
みんなが心地よく
暮らせるように
していきたいよね。



まちだ
町田 大樹
だい き

こう き しん おう せい なん
好奇心旺盛で何でも知りたがる。
かんが うご
考えるよりもまず動く!

まちが り かい
間違っ理解は
ひと ぎず
人を傷つけたりする。
まな
ちゃんと学んで
おかないと。



さ さ き
佐々木 優奈
ゆう な

もの せい と かい ちやう
しっかり者の生徒会長。
かんが きやうみ
まちづくりにも興味がある。

ひとにやさしいまちづくりとは?

ひとにやさしいまちづくりとは、みんながひとりひとり大切にされて、「こうしたい!」と
じ ゆう うご かつどう さん か しゅやく しゃかい
自由に動き、いろいろな活動に参加することができるような、みんなが主役になれる社会。
いわ て けん め ざ ひと あんぜん せいかつ かんきやう すす
岩手県はそれを目指してすべての人が安全かつスムーズに生活できる環境を進めています。
すす うえ じゅうやう かんが かた
ひとにやさしいまちづくりを進める上で重要なのが、“ユニバーサルデザイン”の考え方です。

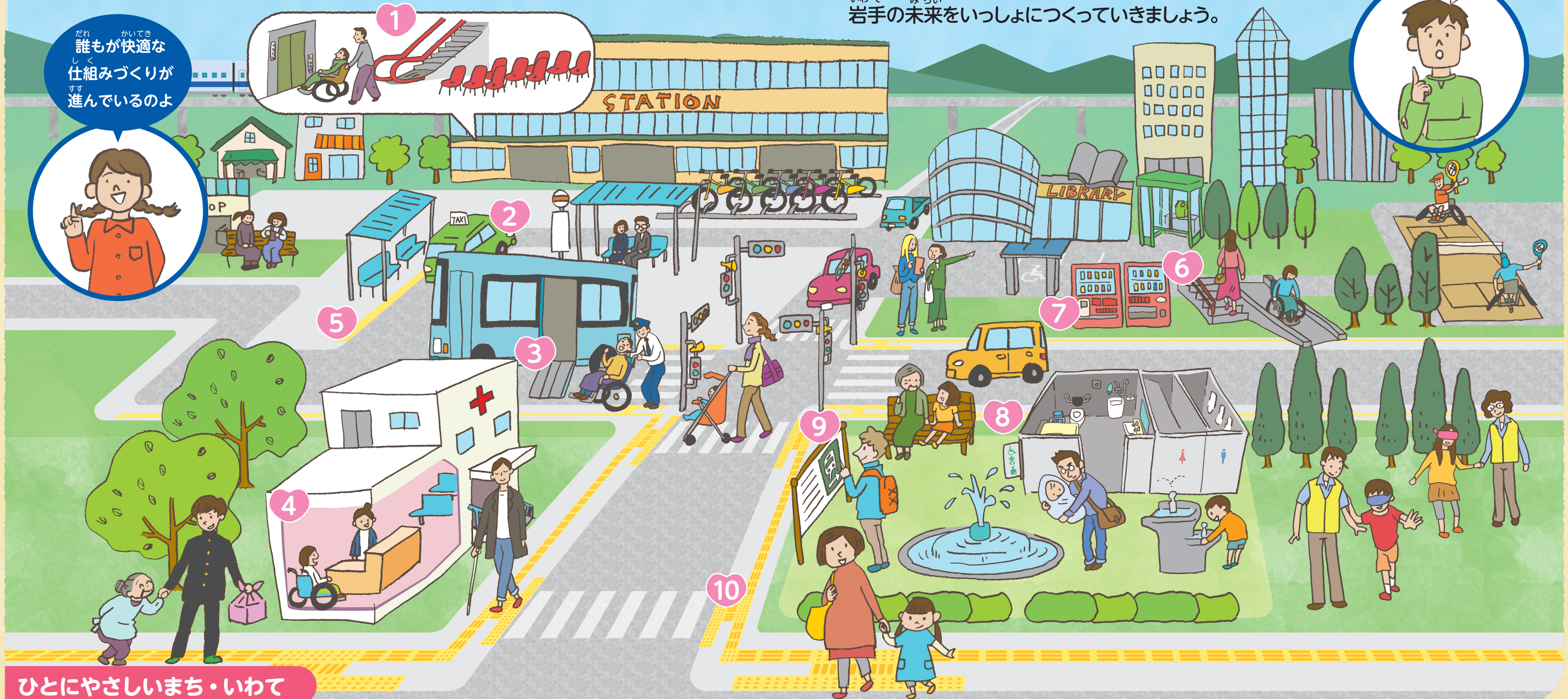


まちの中にたくさんあるぞ！ 「ひとにやさしいまちづくり」

ずっと暮らしたいまちって、どんなまちでしょう。
それは様々な人が平等に暮らすことができる場所。
ユニバーサルデザインを活用することで、
ずっと暮らしたいまちを実現できるはず。
岩手の未来をいっしょにつくっていきましょう。

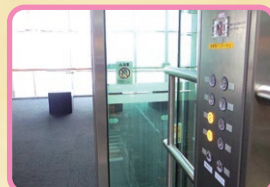
ぼくも
おとな
大人になったら、
やってみたいな

だれ
誰もが快適な
仕組みづくりが
すすんでいるのよ



ひとにやさしいまち・いわて

- 1 だれ
誰もが利用できる
エレベーター
- 2 ユニバーサル
デザインタクシー
- 3 ノンステップバス
(スロープ付)
- 4 たか
高さの違う受付
カウンター
- 5 だん
段差のない歩道
- 6 たか
高さが2段に
なっている手すり
- 7 だれ
誰もが使いやすい
自動販売機
- 8 た
多機能トイレ
- 9 え
絵文字を入れた
案内表示
- 10 てん
点字ブロック



だれ
誰でも押しやすい高さにボタ
ンを設置。



くる
車椅子でも乗り降りしやすい
タクシー。



じょう
乗降口に段差がなく、乗り降
りしやすい。



たか
高さが異なることで車椅子の
人も利用しやすい。



くる
車椅子だけでなくベビーカー
を押す人も快適。



おとな
大人も子どもも無理なく使え
るデザイン。



らく
楽な姿勢で操作・取り出しが
できる。



て
手すりやベビーシート等を備
えたトイレ。

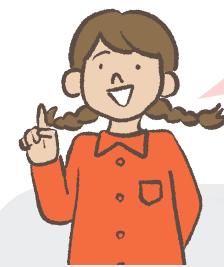


こと
言葉の説明がなくても直感的
に理解できる。



し
視覚に障がいがある方も安
心して歩ける。

「ひとにやさしいまちづくり」



みんなが大人になった時には、もっとも「ひとにやさしいまちづくり」が
すすんでいるはず。その第一歩は、ひとりひとりがちゃんと理解することです。

ヘラルボニーは、「異彩を、放て。」をミッションに、障がいの
イメージ変容と福祉を起点に新たな文化の創出を目指し
ています。岩手県内では、バスや不凍給水栓などを障がい
のある作家のアートが彩り、障がいの有無に関わらず、互
いを認め合える社会づくりを進めています。



アール・
ブリュット作品

盛岡市

くるまい す かた りょうご たの
車椅子の方が旅行を楽しめるように、
くるまい す し ょうしゃようよくしつ ようい
車椅子使用者用浴室を用意していま
す。「旅行を我慢する必要がなくてう
れしい」という声が届いています。

くるまい す
車椅子
し ょうしゃようよくしつ
使用者用浴室

おおふな と
大船渡
プラザホテル

オストメイト(人工肛門・人工膀胱を使用
している方)が来館しても不安なく鑑賞
ができるようにとオストメイトの方専用の
トイレを用意しています。

オストメイト用
トイレ

いわて けんりつ びじゅつかん
岩手県立美術館



いわて けんない
岩手県内でたくさんのひとにやさしいまちづくりが進んでいます。

こちらまでご覧ください。

いわてユニバーサルデザイン電子マップ <http://igis.pref.iwate.jp/udmap/>



りくぜんたか た し
陸前高田市では「ノーマライゼーション」という言葉のいないまち
づくりを掲げ、東日本大震災津波からの復興、そしてまちづくりを進
めてきました。震災からの復興を学べる場所、全ての人が安心して過
ごすことができる海水浴場を目指し、ユニバーサルビーチプロジェ
クトに取り組んでいます。

ユニバーサル
ビーチ

りくぜんたか た し
陸前高田市



動画も見てみてね!



みんなが理解することで、
「ひとにやさしいまちづくり」を実現!



ちょうかくし ゃう げんごし ゃう
聴覚障がいや言語障がいのある
方が、質問や相談ができるように、
この施設では手話通訳が可能な
スタッフがおります。

しゅ わ つうやく
手話通訳

ふれあいランド
いわて
岩手



ゆうどう
誘導
ブロック

いわて けんけんみん もり
岩手県民の森
森林ふれあい
学習館

しかくし ゃう かた あんしん ある
視覚障がいのある方が安心して歩け
るよう誘導ブロックを設置。多くの
方が楽しめる施設です。



1 心のバリアフリー

「バリア」を感じている人の気持ちになって行動することです。

自分の周りには、どのようなバリアを感じている人がいるのか、どのようなバリアフリーの工夫があるかに目を向けてみましょう。

まちにあるバリアフリーの工夫に気づいたら、様々な体や心の特性と考え方を持つ人などが使いやすいように気をつけましょう。

① 障がいのある人が困っていることを取り除くのは社会の責任である。
 (「障害の社会モデル」と言います。)

② 障がいのある人(その家族)への差別をなくす。

③ 自分とはちがった条件を持つ多様な人々とコミュニケーションをとり、
 すべての人が困らないよう想像し共感する力をつける。



2 ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインはみんなのためのデザインです。

年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、すべての人が利用できる

ように、モノや場所をデザインしていこうという考え方のことです。

岩手県ではひとりひとりが、相手の立場に立って行動できる「ひとにやさし

いまちづくり」を進めています。「ひとにやさしいまち」をつくり、

すべての人が『かけがえのない個』として参加すること

ができるような、みんなが主役になれる社会を目指しています。



ユニバーサルデザインの7つのきまり

1
公平



だれでも使いやすく、商品化
 されていてどこでも手に入る

2
柔軟性



使う上で、柔軟性があること

3
簡単



わかりやすく
 すぐ使えること



4
感覚



感覚で情報がわかること



5
安全



エラーによって起こされる
 危険を最小限にする

6
楽



労力が少なく楽に使える



7
大きさ・空間



近づきやすく使いやすい
 大きさや空間にする

とく 取り組みをやってみよう!

まわ こま ひと あぶ じょうきよう かんが
周りの困っている人・こと、危ない状況はないか考えてみよう

かんが どんなことができるか考えてみよう

あいて こま
相手がどんなことをしてほしいか困
っていることを確認して、手助けをし
ましょう。
だいじょうぶ
「大丈夫ですか?」
こま
「困っていることはありませんか?」



てつだ おも こえ ことわ
手伝おうと思って声をかけたとき、断ら
れることもあるかもしれませんが、がっか
りすることはありません。
じぶん ひと じぶん ひと
自分でやりたい人、自分でできる人もい
ます。相手の気持ちを大切にしましょう。

アンコンシャスバイアスとは?

わたし こえ ことわ
「私にはできないかも…」「きっと声をかけて断られるかも…」
かんが き
のように考えて、決めつけていませんか?

さまざま
まちには様々なひとがいます。これは、アンコンシャス・バ
イアス(意識しない思い込み)と呼ばれています。「モノ」や
「できごと」にも起こることです。

できるだけアンコンシャス・バイアスをなくして、
みなお
まちを見直してみよう。

おも こ まえ
思い込む前に、
いちどかんが しん
一度考えて信じて
やってみよう!



さまざま たいけん さん か 様々な体験やボランティアに参加してみよう

おこな てんけん たいけん しょう
まちで行われているバリアフリーの点検やキャップハンディ体験(障がいなどを
も ひと かんかく たいけん さん か なか き けん こま し
持った人の感覚の体験)に参加して、まちの中にある危険や困っていることを知っ
てみましょう。ボランティア活動には、雪かきや清掃といった身近でできるものが
あります。このような活動を通じて、まちの中で高齢者、障がい者、妊娠中の人
がどのようなことに困っているのか理解を深めましょう。

いわ て けん すす 岩手県が進めるひとにやさしいまちづくり

め ざ すがた
目指す姿
いわ て けん たいせつ
岩手県は、みんながひとりひとり大切にされて、「こうしたい!」と自由に
うご かつどう さん か しゅやく
動き、いろいろな活動に参加することができるような、みんなが主役にな
れる社会を目指しています。

① ひとづくり

り かい
ひとりひとりが理解
たいせつ
され、大切にされるよ
うに取り組めます。

④ じょうほう はっしん 情報発信

みんなが、必要(ひつよう)な情
報(ほう)を、必要(ひつよう)なときに、
ひつよう かたち う と
必要な形で受け取り、
また(はっしん)は発信(はっしん)できること
が重要(じゅうよう)です。

② まちづくり

より多く(おお ひと)の人が使い
やすい建物(たても の もの どう)、道
路(ろ ばしょ)などをつくり、
安全(あんぜん)で暮らしやすいま
ちをつくりま。

③ ものづくり

だれにとっても使い
やすいものづくり(すす)を進
めます。

⑤ さん かく 参画

みんながあらゆる
ぶんや かつやく かん
分野(ぶんや)で活躍(かつやく)できる環
境(きょう)をつくりま。



くわ
詳しくは、「ひとにやさしいまちづくり推進指針(2025-2029)」。